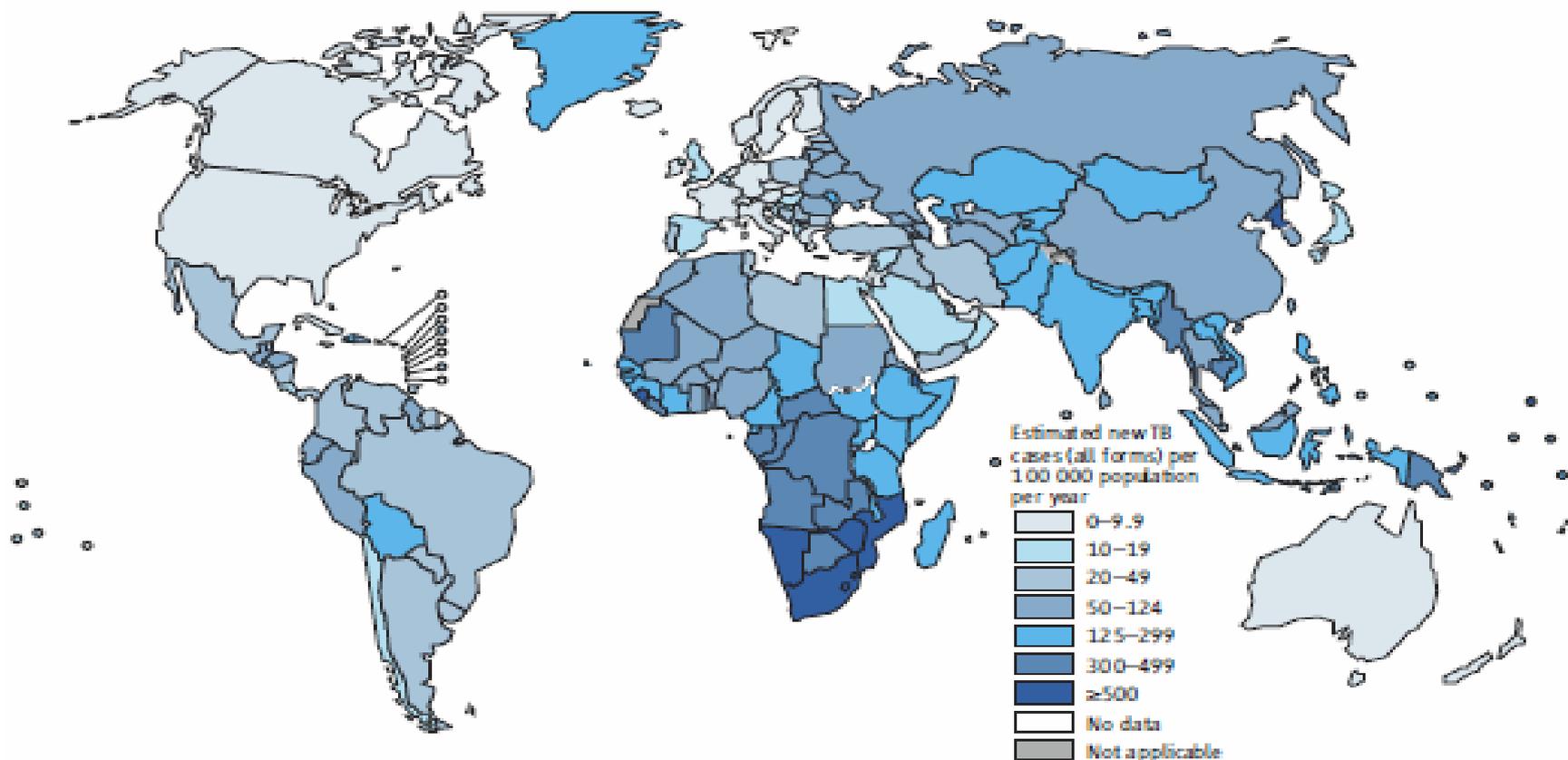


# 2013年ストップ結核パートナーシップ日本総会

## 「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた取組み」



2013年12月16日

外務省 国際保健政策室

# 発表内容

1. ポスト2015開発課題とUHC
2. UHCを通じて解決すべき課題
3. 我が国の国際保健外交戦略
4. ODAを通じたUHCに向けた取組み
5. UHCの測定方法と目標設定
6. 結核対策とUHC

# ポスト・ミレニアム開発目標 (post 2015)

- ◆ 現行MDGsを基礎とし、その経験と教訓を踏まえる。
  - **簡素・明快さ**を保つ(目標の整理・統合も)。
  - **貧困撲滅**を中心に。
- ◆ 成長・雇用に光を当てる。
  - 成長・雇用は富を創出する源。
  - 質の高い成長(グリーン・包摂的成長)を目指す。
- ◆ 国内格差の拡大に目を向ける。
  - 世界の貧困層の約4分の3が中所得国に居住。
  - **衡平性・包摂性**が鍵。
- ◆ この10年間の国際社会の変化に対応する。
  - 持続可能性, 食料安全保障・栄養など新たな課題に対処。
  - **民間セクター**の関与。**新興国, NGO**などの役割。
- ◆ 途上国自身の努力(オーナーシップ)を推進する。
  - **ガバナンス**強化・**途上国内の資源の動員**の促進。

# ポスト2015開発課題

2016年～

首脳会議  
国連総会決議

2015年

加盟国間の交渉

2014年秋以降

様々な機会に  
加盟国間で議論

ファイナンス  
報告書

2014年  
9月頃

SDGs  
報告書

2013年8月～  
2014年6月

2013年3月～  
2014年8月

2013年  
9月25日

ファイナンス  
委員会

SDGs OWG

国連総会  
MDGs  
特別イベント

持続可能な開発のための  
ファイナンス戦略に関  
する政府間委員会

持続可能な開発目標  
に関する政府間  
オープンワーキンググループ

2013年  
8月

事務総長  
報告書

2012年6月

2013年  
5月31日

リオ+20

ハイレベルパネル報告書

※テーマ別コンサルテーション

# 今なぜUHCか？

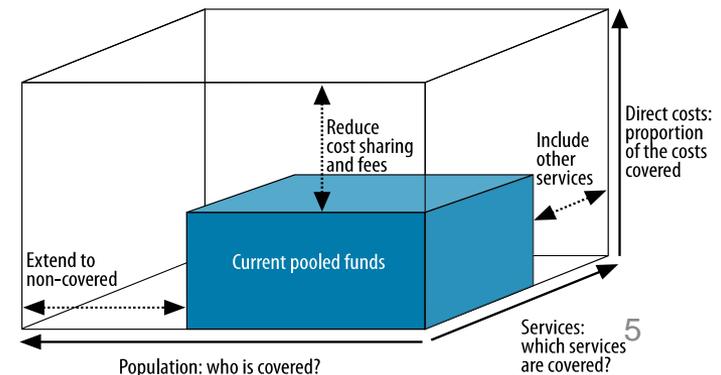
- (1) 包括的な保健目標の必要性。  
(2) MDGs達成には、**貧困層・脆弱人口**も含めた「すべての人」が基礎的保健医療サービスにアクセスできることが不可欠。  
(3) 疾病状況の変化、高齢化社会に対応するために、よりニーズに沿った**保健医療サービスを、質を確保し、低価格で持続的に供給する保健システム**(特に保健財政や保健人材)が重要。

- UHCとは**、すべての人々が基礎的な保健医療サービスを、必要な時に負担可能な費用で享受できる状態  
(世界保健機関(WHO))

- UHCを考える視点**(WHOが提案するフレームワーク)

保健医療サービスについて

- ① 提供するサービス(公的給付対象)
- ② 提供する人口(社会保護)
- ③ 自己負担の程度



# ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)

—地球上の全ての人々が基礎的保健医療サービスを受けられるように—

必要な時に負担可能な費用で基礎的な保健医療サービスを受けられるようにするには、  
母子保健や感染症等の医療サービス供給と保健システム強化が不可欠。



# 国際保健外交戦略 (2013年5月)

## 1 基本認識

保健は国際社会の共通課題。日本の経験を踏まえた貢献が期待される。

(1) 日本は世界で最も優れた健康長寿社会を達成。50年以上の国民皆保険制度の実績。非感染性疾患対策及び予防に比較優位。高い技術力。

(2) 日本は国際社会の保健分野の取組を主導。

- ・WHOの主要拠出国
- ・世界基金の産みの親
- ・G8北海道洞爺湖サミット
- ・ミレニアム開発目標(MDGs)

## 2 戦略目標

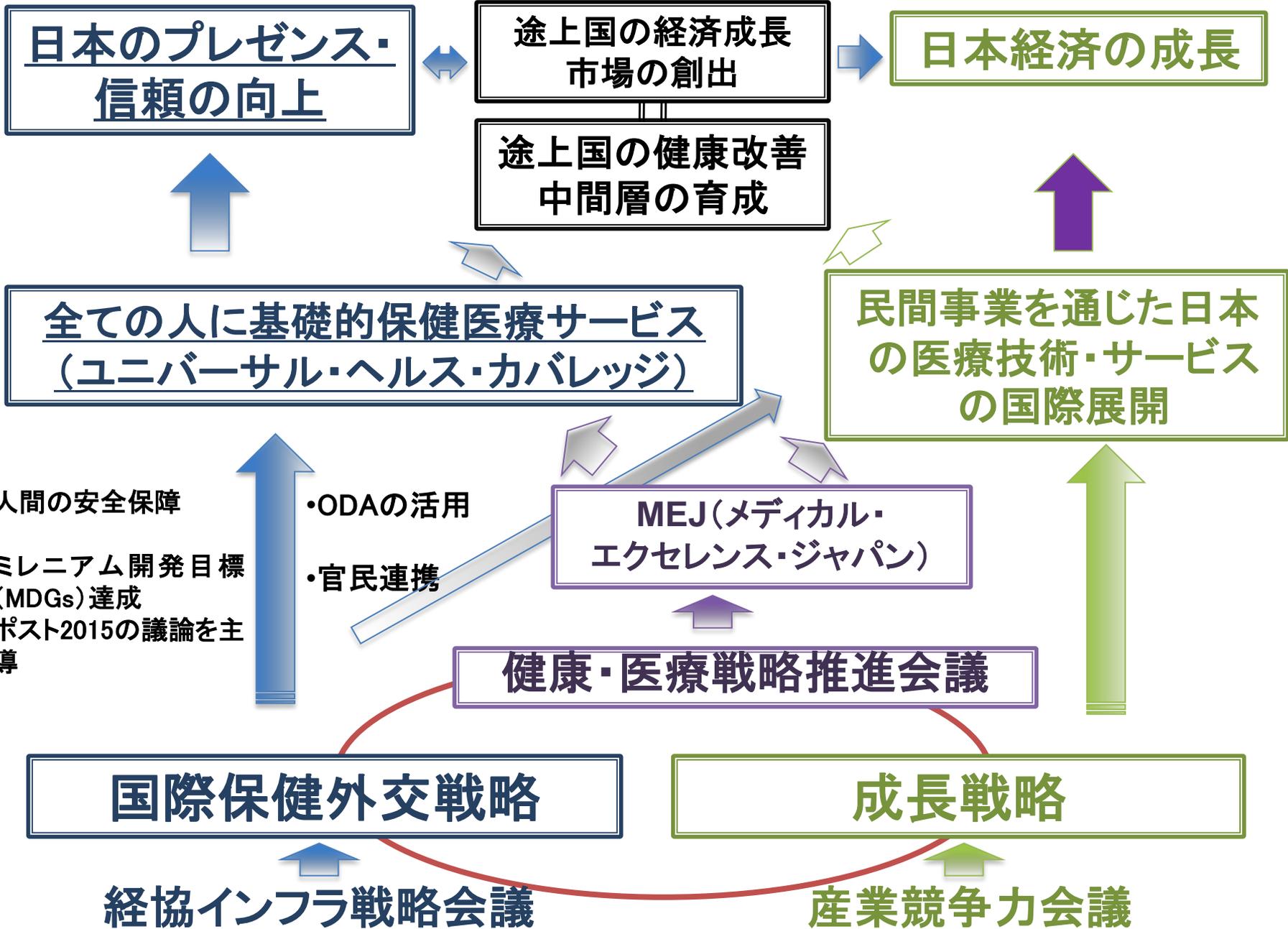
国際保健を日本外交の重要課題と位置づけ、日本の知見等を総動員し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)に貢献する。

安倍総理によるランセット誌寄稿 (9/14)

Japan's strategy for global health diplomacy: why it matters

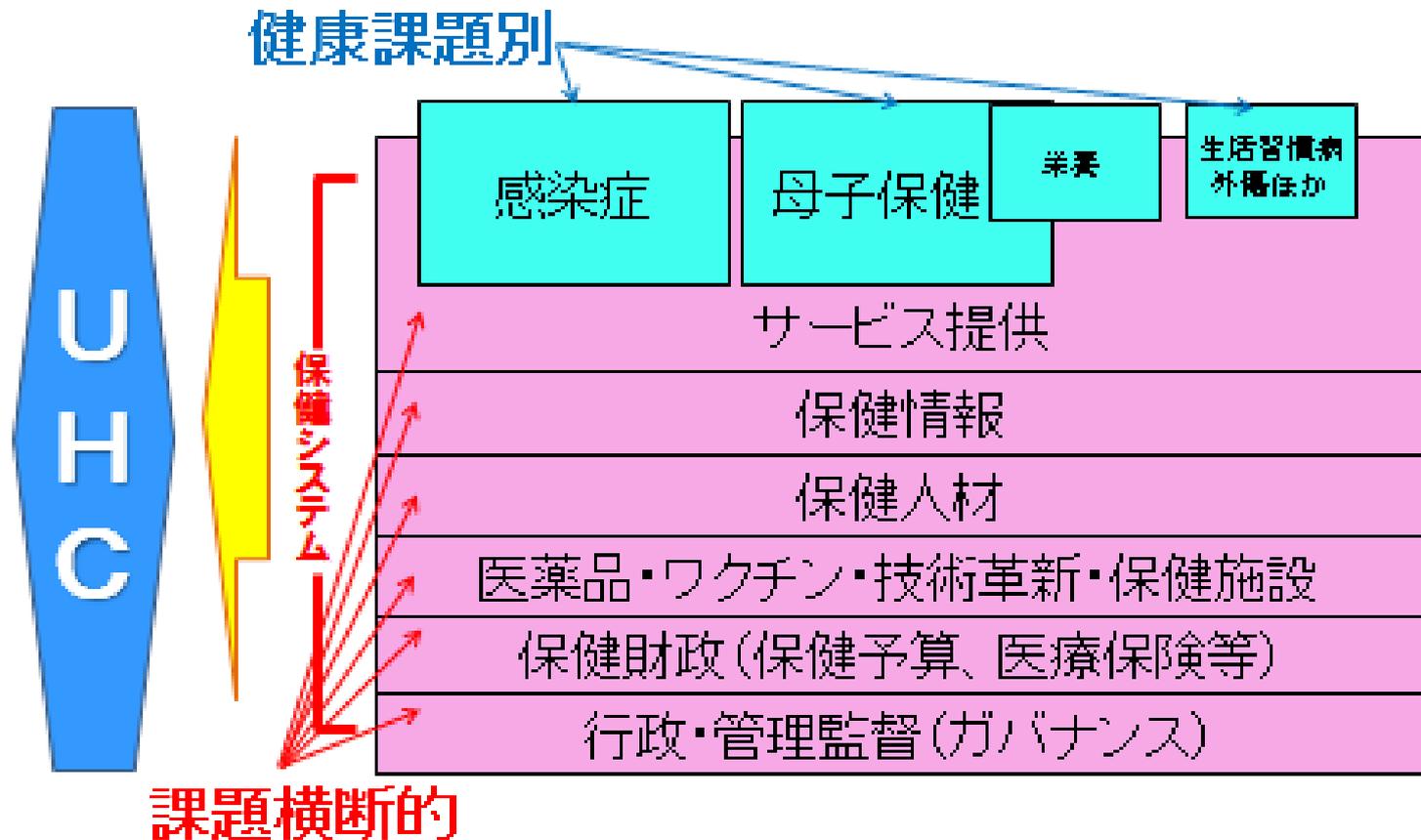
- ・多様な保健ニーズに応える包括的対策
- ・疾病対策アプローチから人間中心へ
- ・各国及び地域の実情に応じた政策
- ・途上国による資源配分の決定





# 保健分野における取り組み概念図

健康課題別 (Vertical) の支援と 課題横断的 (Horizontal) な支援



出典: JICA内部資料 (取扱注意)

# ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成に向けた協力（例：ASEAN）

日・WHO 保健財政コース

日・世銀 UHC フラッグシップコース

日・OECD 保健会計システムコース

ASEAN+3 UHC ネットワーク

JICA-科学院 UHC 研修

JLN for UHC

## しくみ

パートナーシップの強化と経験の共有  
持続可能な制度と財政リスク回避が必要

### 保健財政政策

- 保険制度改革・強化
- 保健会計システムの導入
- 診療報酬制度の導入

### 医療保険

- 電子レセプトの導入
- レセプト監査の強化
- 保険基金の業務管理・会計強化

### UHC維持

- (例：ブルネイ、マレーシア、シンガポール、タイ)
- 官民連携を活用し、高齢化や非感染性疾患等の課題に対応した保健サービスを拡充
  - 費用対効果の高いサービスや効率的な保健財政体制による制度維持
  - 官民病院間でのサービス提供や保険制度間での利用可能なサービス内容の格差是正

### UHCスケールアップ

- (例：インドネシア、フィリピン、ベトナム)
- 医療保険の人口カバー率向上（特に、非正規雇用者や脆弱層）
  - 地方のプライマリー・ヘルス・ケア関連インフラ強化による、利用可能サービスの地域間格差の是正
  - 保険の給付水準・サービス内容の拡大

## もの

従来アプローチを踏まえつつ、官民連携など新たな協力手法の確立  
革新的医薬品・医療機器、良質なサービス、適切な医療施設を提供

### 保健サービス関連の規制

- 保健サービス基本計画の策定
- 医薬品・法人規制枠組みの策定
- 病院機能評価の策定

### 保健サービス

- 基礎的保健サービスの特定
- 革新的な製品への投資
- 医療ICTの導入・強化

世界基金

MEI

日本の医療の国際展開

## シナジー効果

## ひと

基本的に従来路線の協力関係の継続  
良質な医療提供には人材育成（医療従事者・技師・行政官）が不可欠

### 人材育成

- 適正なカリキュラム構築
- 適正数の確保
- 医療従事者の質の担保

保健人材グローバルフォーラム  
日本がリードするWHOパートナーシップ（議長は日本人）

### UHCスタートアップ

- (例：カンボジア、ラオス、ミャンマー等)
- 未達成の保健関連MDGs（HIV/AIDS、結核、マラリア、母子保健等）達成に向けて、基礎的保健サービスパッケージの確立

# UHC達成目標及び指標(WHO・世銀提案)

## 目標

1. 2030年までに、対象人口の所得層下位40%に対し、基礎的保健サービスへのアクセスが80%保障されること
2. 2030年までに、全ての人を経済的リスクから守られ、保健サービス支出によって貧困に陥いる、もしくはその状態が継続される人がいないこと

## 1. 保健サービス・カバー率(データ元:世帯調査・保健サービス調査)

### MDGs関連:

- 総合指標: MDGs関連の個々の疾患対策を包括したカバー率
- 衡平性指標: 人口下位40%の貧困層のMDGs関連対策のカバー率

### 慢性疾患・外傷関連(NCDs):

- 総合指標: NCDs関連の個々の疾患対策を包括したカバー率
- 衡平性指標: 人口下位40%の貧困層のNCDs関連対策のカバー率

## 2. 経済的リスク保障カバー率(データ元:世帯調査)

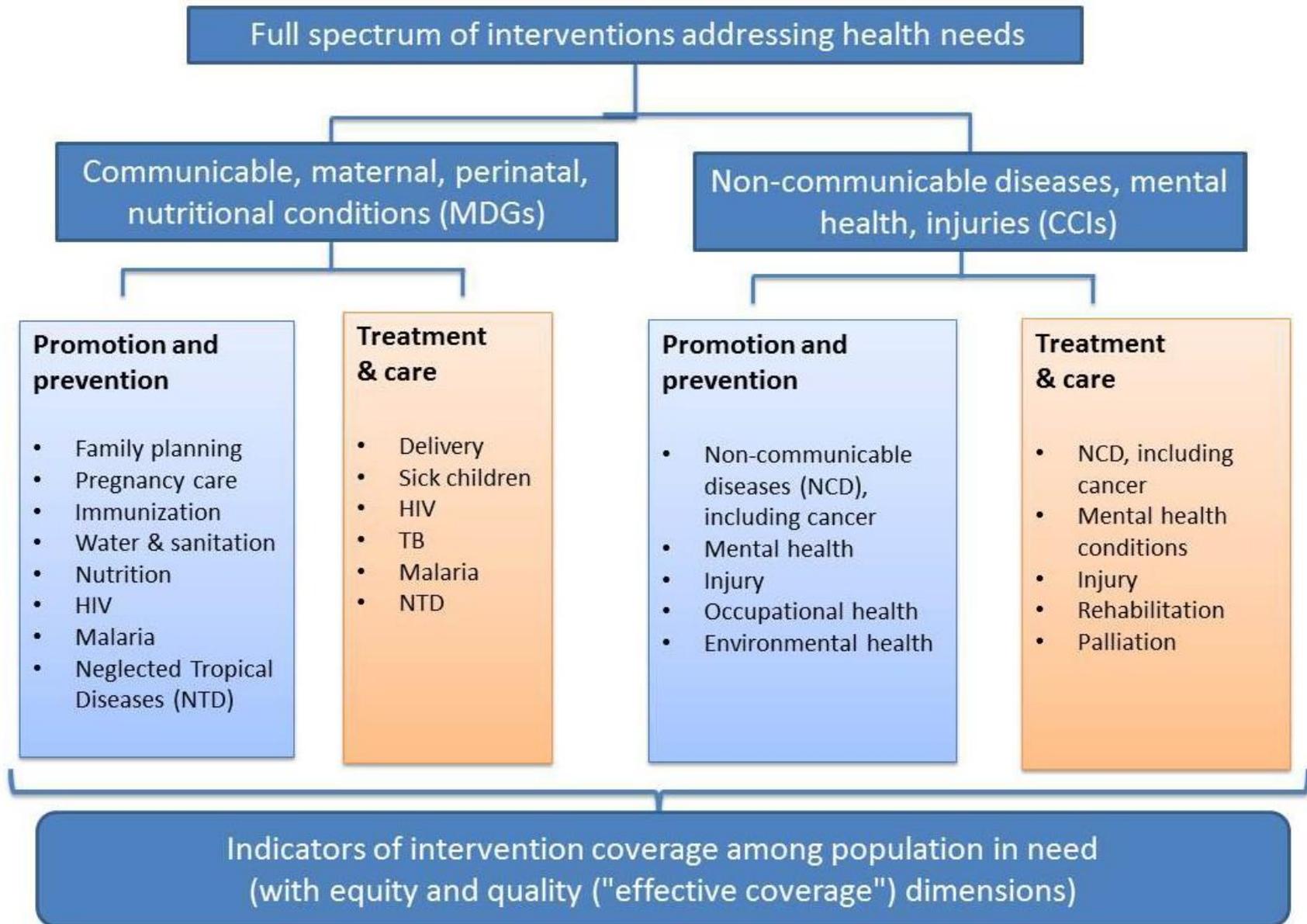
### □ 貧困化支出:

- 総合指標: 医療費自己負担による世帯の貧困化率

### □ 破壊的支出: 医療費支出(食費を含が世帯支出の25%を超える世帯)

- 総合指標: 医療費自己負担により破産的支出が生じた世帯の変動
- 衡平性指標: 破産的支出が生じた所得層下位40%の世帯の変動

# 保健サービスのパッケージ (WHO・世銀提案)



\* この他、入院、外来、薬剤、風土病、パンデミック、リハビリ、高度先進医療、付加的サービス、医療の質などの考慮すべき要素がある。

# 結核対策とUHC

## 視点1： UHCを達成するための主要な要素

感染症対策なしではUHC達成は有り得ない。  
結核は基礎的医療サービス・パッケージのひとつ。  
保健システムを強化する上で疾病対策は重要。

## 視点2： 結核対策をエントリーとした保健財政強化

保健財政政策（情報システム、会計システム、歳入・調達）  
グローバル・パートナーシップ（相互監視）

## 視点3： 結核対策のユニバーサル・カバレッジ

サービス供給の強化（政策・供給力・人材）  
サービス支払い制度（公的負担の範囲、衡平性）